

岡崎豊議員の質問に、「手話を月から任意事業に位置付けられるが、今後も継続していくと答弁。

としたチャレンジ塾は、27年4月から任意事業に位置付けられるが、今後も継続していくと答弁。

浜口議員は、高知龍馬空港へのLCC誘致を市長が検討していることに対し、早期導入の必要性を訴えた。27年度から、認定こども園においても同時入園第2子からの保育料無料化を検

く働きかけ、子どもが育ち学ぶ環境をさらに充実させていきたいと答弁。また、中学生を対象としたチャレンジ塾は、27年4月から任意事業に位置付けられるが、今後も継続していくと答弁。

近藤強議員の質問に、一宮の旧高知県交通敷地は財産処分で平成28年10月以降は利用できないうが、道路高架下の公用用地を活用したパークアンドライド駐車場の継続やバス乗降所について、国や県、事業者と協議し高速バスの利便性確保に努めると答弁。

門田権四郎議員の質問に、日本の国内総生産（GDP）に占める教育費3・3%は、OECD各国平均4・9%を大きく下回り、1学級当たりの児童数も多くなっている。今後も国に強く働きかけ、子どもが育ち学ぶ環境をさらに充実させていきたいと答弁。

近藤強議員の質問に、一宮の旧高知県交通敷地は財産処分で平成28年10月以降は利用できないうが、道路高架下の公用用地を活

用したパークアンドライド駐車場の継続やバス乗降所について、国や県、事業者と協議し高速バスの利便性確保に努めると答弁。

川村議員は、環境問題について、温暖化対策にはCO<sub>2</sub>の削減が急務であることから、バイオマス発電、電停周辺の再開発、街中居住、食料残渣の飼料化を提案。耕地課所管の排水ポンプ場の賠償問題では、監査とコン

## 市民クラブ

### 「チャレンジ塾」継続表明

個人質問には福島明議員、川村貞夫議員、浜口卓也議員が登壇

## 12月定例会を振り返って

### 会派の意見

#### 新こうち未来

27年度に関係団体等を入れた条例検討委員会を設置し、具体的な論議を進めたいと答弁。障害福祉サービス等利用計画の作成については、暫定措置で市町村での代替プランが認められたので、利用できないことがないよう取り組むと答弁。

清水おさむ、水口晴雄、竹村邦夫議員が個人質問に登壇！

#### 新風クラブ

公共交通では、ICカードを市職員の出退勤カードとすることによる利用促進を提案した。

#### 日本共産党

現地説明会の開催を要望し、ポンプ場整備の進捗について具体的な答弁を得ました。

#### 中学校給食は早期実施の約束へ

西森美和議員は、要支援者名簿の作成を津波・長期浸水地域に限定せず速やかに全市域に拡大するよう要請しました。また

細木議員は、国保料滞納分の半額を支払わないと資格証から短期保険証に切り替えない問題を追及し、市長は「実態を踏まえ適切に対応する」と答弁。

はた議員は、中学校給食の実施を問い合わせ、「早期実施を目指す」と約束させた。また、

一部に自校方式の導入を求めた江口議員は、介護保険制度改正に關し、地域包括支援センターの十分な人員配置と、16億円の基金を活用した介護保険料の抑制を求めた。また、中学校給食の実施方式については食育や地産地消、災害対応、雇用への影響などを取り上げ、もつと丁寧な論議をすべきと求めた。

岡田議員は、中心市街地活性化策として公道でもオープンカフェができるよう求め、実施できる環境は限られるしながらも可能であることが確認された。また、資源物の売却利益を還元するための基金の設立を求め、協議すると約束させた。

近森正久議員は仕事ができる

犬猫不妊去勢手術補助金の獲得。誠和園の高台移転が民立民営で。体力のアップで学力向上に成功。

災害情報を瞬時に送るFB活用。日曜市の再生計画が始まった。4百人雇用競輪場の収益アップ。

農作物の地産地消外商が始まることを表明した。

#### みどりの会

浜口議員は、高知龍馬空港へ方創生策の中に、集客施設と避難施設を組み合わせた施設を整備する観点を盛り込んだ」と答

え、27年度に策定する高知市版の総合戦略に織り込むよう検討

することを表明した。

#### 公明党

##### 災害対策は市民目線で

###### 万全の対応を！

岡崎豊議員の質問に、「手話を月から任意事業に位置付けられるが、今後も継続していくと答弁。

岡崎豊議員の質問に、「手話を月から任意事業に位置付けられるが、今後も継続していくと答弁。

